



平成 28 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 日本マニファクチャリングサービス株式会社

代表者名 代表取締役社長 小野 文明

(コード：2162、東証 JASDAQ)

問合せ先 執行役員コーポレート本部長 中村 新

(TEL. 03-5333-1711 (代表))

**平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績との差異
及び営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ**

当社は、平成 28 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の実績において差異が生じたので、お知らせいたします。

また、平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）において、営業外費用（為替差損）を計上しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期（累計）業績予想と実績の差異

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 29,200	百万円 380	百万円 320	百万円 200	円 銭 20.24
実 績 値 (B)	28,937	688	61	△92	△9.38
増 減 額 (B-A)	△262	308	△258	△292	
増 減 率 (%)	△0.9	81.3	△80.8	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	32,043	890	944	510	51.70

2. 差異の理由

当第 2 四半期累計期間の業績につきましては、ヒューマンソリューション事業（HS 事業）における採用力の強化や定着率の向上、顧客との関係強化、製造請負における管理体制強化による生産効率改善効果等に加え、エレクトロニクスマニファクチャリングサービス事業（EMS 事業）における構造改革、パワーサプライ事業（PS 事業）においてコスト改善を図ったこともあり、営業利益において予想を大幅に上回りました（通期予想に対する進捗率 69%）。

一方、経常利益につきましては、営業外費用において為替差損 603 百万円を計上したことにより予想を下回り、四半期純利益につきましてもこの影響等により予想を下回りました。

なお、通期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）業績につきましては、事業環境は概ね順調に推移するものと見ております。ただし、為替相場変動の影響等による不確定要素があるため、現段階では、平成 28 年 5 月 13 日に公表いたしました通期連結業績予想を変更しておりません。今後の業績動向を踏まえ、業績予想を見直す必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

3. 営業外費用（為替差損）の計上

平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）において、主に海外子会社への貸付金に対する平成 29 年 3 月期第 2 四半期末時点の為替相場による評価替え及び海外子会社間の取引により、為替差損 603 百万円を計上いたしました。

なお、上記は平成 29 年 3 月期第 2 四半期末時点の為替差損であり、今後の為替相場によりこの額は変動いたします。

以 上

（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいているものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。